

【技術の名称】 Y'sベースリングⅡ工法 ー基礎梁貫通孔補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第24-32号 性能証明発効日：2025年4月7日 【取得者】 矢作建設工業株式会社 丸井産業株式会社
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造基礎梁に設ける貫通孔補強工法である。貫通孔の径は梁せいの1/3を超え1/2.3以下である。補強には貫通孔比（貫通孔直径/梁せい）が1/3以下の場合で多数の実績を有する梁貫通孔補強材「MAX リンブレンK型」（BCJ 評定-RC0184-07）の技術を用いる。貫通孔比を1/2.3まで拡大した場合、梁貫通孔補強材を十分に配筋しても貫通孔の鉛直上下部（以降、弦材部と称する。）で破壊する可能性がある。そこで、本工法では、構造実験から想定する貫通孔耐力を発揮させるように弦材部配筋について最小鉄筋比などの構造規定を設けている。

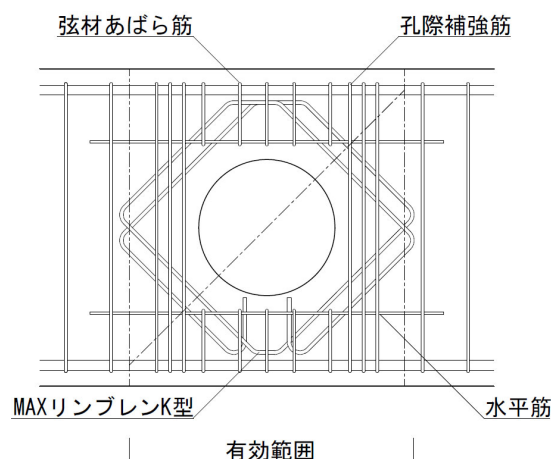


図-1 工法概要

【技術開発の趣旨】

一般的に基礎梁では設備点検のために大口径の人間貫通孔が必要となる。そこで貫通孔の直径を梁せいの1/2まで拡大することを可能とした基礎梁貫通孔補強工法「リンブレンFH型を用いたY'sベースリング工法」（GBRC 性能証明 第17-06号）を開発した。同工法で採用されている梁せいの最下限が1400mmであることから、本技術は貫通孔の直径を梁せいの1/2.3までとすることにより、設計の簡便化および施工性の向上を意図して開発された。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「Y'sベースリングⅡ工法設計・施工マニュアル」に従って設計・施工された鉄筋コンクリート造基礎梁は、同指針で定める長期荷重時（使用限界時）に使用上支障のあるひび割れ、および短期荷重時（損傷限界時）に修復性を損なうひび割れを起こさず、同指針で定める終局耐力を有する。

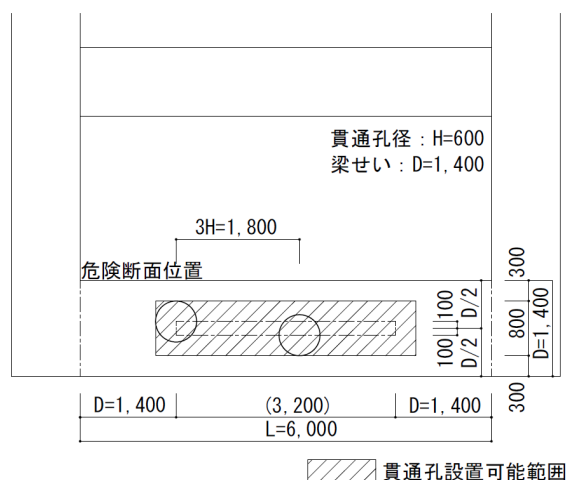


図-2 貫通孔の設置可能範囲

【本技術の問合せ先】

矢作建設工業株式会社 担当者：深津 尚人
〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1533-74

E-mail：n-fukatsu@yahoo.co.jp
TEL：(0561)56-5828 FAX：(0561)56-5829